



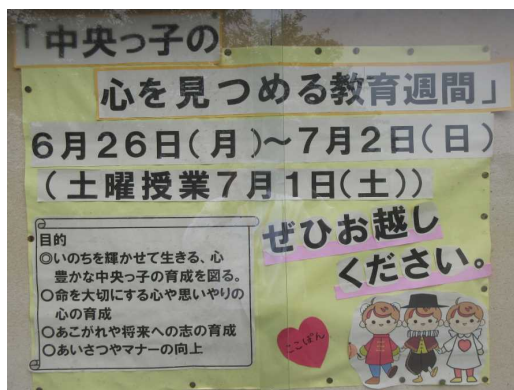
# ちゅうおう SHOW TIME

中央小学校 学校便り

R5. 7. 4(火) № 6

校長 梅田 幸助

## 中央っ子の心を見つめる教育週間を終えて



「命」って何だろう。「一つしかないもの」「死ぬとなくなるもの」子どもの答えは様々ですが、「いのちの授業」の著者で内科医であった日野原重明氏は「命」を「自分が使える時間のこと」と答えています。「太郎さんが、太郎さんとして使える時間」と考えるとピンときますね。一説によると、医療が日進月歩で進化し、これから生まれてくる子どもの平均寿命は100歳とまで言われています。

100歳まで生きるとすると、日数計算で36,525日。1～6年生の子どもたちは、今の時点で約2500日～4500日生きていますが、100歳まで生きるとすると、まだ30,000日以上残っています。

ところが、2003年に長崎市で発生した4歳男児の事件。そして、翌年に佐世保市で発生した小6女児の事件。いずれも、残されていたはずの「自分が使える時間」が奪われたことを考えると胸が痛みます。子どもたちには、このことによって「命を見つめる教育週間」が生まれたことを伝えるとともに、改めて「自分の命を大切にし、悩みがあったら周りの大人に相談をすること」そして「自分と同じように幸せを願って生きているお友達の命を大事にするために、自分勝手は許されないこと」について話をしました。荒天により、道徳の授業参観が中止となってしまったのが惜しまれますが、今後も学校生活全般の中で、自他の命を尊重する気持ちを育んでいきたいと考えています。

### 非行事故防止キャラバン活動



6/28日に、中央小校区健全協の方を中心とした非行事故防止キャラバン活動として、本校児童の集団下校に参加していただき、通学路に潜む危険についても具体的にご指導いただきました。本校児童が安全に登下校できるのも皆様方の温かい見守りのおかげです。誠にありがとうございます。

### お迎え、ありがとうございました。

6月30日は、大雨による線状降水帯の発生も懸念されたため、児童の安全を最優先に考え、急遽、保護者の皆様にお迎えをお願いしました。皆様にはお仕事等もある中、ご迷惑をおかけしたことと思いますが、おかげさまで全校児童を無事に下校させることができました。また、一方通行など、お迎えのルールも守っていただき、大きな混乱なく終えることができましたことを心より感謝申し上げます。

